

大光紙工株式会社

美粧印刷との貼り合わせや
片面段ボールを製品として提供納期
相談
メイト
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

印刷と片面段ボールを貼り合わせる機械

主な事業内容

美粧印刷と片面段ボールの
貼り合わせと片面段ボール製造

主な取引先(納入先)

広告・販促関係、食品関係、
家電関係

主な製品

合紙、片面段ボール

業務
内容片面段ボール製造と
貼り合わせの合紙事業の2本柱

一般的に広く認知されている段ボールは、波状の部分を平らな面（ライナ1）2枚で挟んだ「両面段ボール」であるが、同社が製造する段ボールはライナーが1枚の「片面段ボール」だ。同社では顧客から支給された印刷物に波状の部分貼り合わせる合紙事業を主力としている。片面段ボール合紙は、紙箱よりも緩衝性や耐久性に優れた箱を必要とするユーザーから需要があり、酒やジュースなどの瓶製品や照明器具、ランドセルなどのパッケージジとして使用されている。

また、包装の簡素化が進むにつれ合紙事業の需要が減少することを考慮し、従来は素材として製造していた片面段ボールを製品として販売。緩衝材や包装材、工作用としての活用を提案している。合紙、片面段ボールともにサイズや材質を豊富に展開し、ユーザーの需要に応じた供給を行っている。

強み
複雑な貼り合わせの
条件でもスムーズに加工

合紙事業では、片面段ボールの波の頂点に糊をつけ、商品パッケージとなる

社長あいさつ



代表取締役社長

江崎 高志さん

合紙事業では寸法A倍可能、刷本180g/m²からの貼り合わせも対応し、大口だけでなく小ロット・短納期も技術と機動力を生かして高品質で対応します。また、強度が高く軽量で、緩衝性や保温性の高い片面段ボールを梱包材や工作資材として製造し、用途拡大を図っています。

主な保有設備

- 全自動合紙機
最大幅1,250×最大流れ1,280mm
メタル・クリエーション製
- 段操機
1,300巾A段/段高5mm
1,300巾B段/段高3mm
1,300巾E段/段高1.4mm
大和メカニク製

大阪
01住 所 / 〒571-0007
門真市
北岸和田2-1-12

T E L / 072-882-0154

F A X / 072-882-6061

創 業 / 昭和42年11月

設 立 / 昭和55年1月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 5名

市場
開拓片面段ボールの普及を
図り可能性を開拓

印刷物を貼り付ける加工を行う。片面段ボールは自社製造で品質管理しているが、印刷物は多方面から納入されるため、条件はさまざま。温度・湿度の影響を受けて湾曲しやすく、印刷がいびつであることもある。最近では箔やホログラム、ラミネートなどの加工をした印刷も増えている。複雑な条件でも貼り合わせの機械の部品調整や、あえて印刷物を事前に曲げるなどの対策で、スムーズな加工を実現し、また合紙後の反り対策にも力を入れ、ユーザーの信頼を獲得している。

現在、片面段ボール事業の売上げ比率は20%だが、用途拡大に取り組み、50%への引き上げを目指す。「片面段ボールは世間で知られていないからこそ可能性がある」と江崎高志社長の表情は明るい。段ボールは90%以上のリサイクル率を誇り環境に優しく、曲げることができ包みやすいため「ビニール・プラスチックに代わる梱包材として活躍できる」とアピールする。さらにクラフト紙の使用による軽量化にも対応。将来はレーザー加工機などを導入し、片面段ボールに付加価値をつけ、創作活動を行う個人客も取り込む構想だ。



汎用性が高い片面段ボール



巻段ボール



片面段ボールの見本


<http://daiko-siko.com/>